



緑あふれる桃沢の景観



杉森 賢二 議員

Q 経済効果をもたらす観光事業促進を

A 官民一体となった取り組みをしていきたい

観光事業の明確化を

問 景観形成基本計画にある眺望点の指定を、フォトスポットとしての利用も視野に入れ、良好な眺望景観を観光スポットにする考えは。

建設計画課長 眺望点はフォトスポットとしても

利用が期待されるものであり、町民意向の把握や必要な環境整備の検討を進める中で条件が整えば指定していきたい。

問 町が掲げる観光政策における今後の観光振興に向けた構想は。

産業振興課長 観光交流によるまちづくりを推進

していくために、情報の提供や交換、協力体制を構築するネットワークづくりが重要と考えている。

問 経済効果をもたらすための観光事業をプロフエッショナルの意見を参考にしながら、進めるやり方も考えられるが、今後の計画は。

都市環境部長 これまでも専門家の意見を聞きながら、特に食の分野に着目し、飲食店の紹介や、特産品を使った商品開発なども進めてきた。町と民間団体や関係機関との連携、協力の取り組みが重要で経済活動を高めることにつながるものと考えている。

Q さらなる情報配信の提供を

A タイムリーな情報を積極的に発信したい

コミュニティFMの有効活用を

問 単独、もしくは近隣地域連携でのコミュニティFM設立の考えは。

総務部長 施設整備やラニングコストなどの費用対効果を考えると効率的ではないと認識している。現在、当町がエリア

となっている既存のコミュニティFMを引き続き有効活用することが最も効果的であると考えている。

インターネットメディアで情報発信を

問 インターネットラジオ、インターネットテレビなどインターネットメ

ディアを活用した番組、イベント配信を展開する考えは。

部長 リアルタイムでオンラインすることができ、即時性があることなど、時代に即した情報提供の一つであると認識している。また、企業や政府、自治体などの広報活動などで活用するケースも出

てきていることから、今後の情報発信の手段として検討の必要性も認識している。先進的な取り組みの状況などを踏まえながら、町としての必要性を検討し、より効果の高い情報発信手法の調査研究を進めていきたいと考えている。